

2009.11.18 (水) 小雨後くもり 油日岳&那須ガ原山 ひとり



登山口①

913 登山口 946 稜線③ 951-959 油日山頂 1021 登山口
1109 参道橋 1118 登山口 1208-1238 那須ガ原山頂 1316 参道橋



最後の水場②



稜線③



山頂④



岳大明神④

本日は湖北の己高山の予定であったが、雨予報で中止となり、ひとりで晴れが見込めそうな鈴鹿の南の山・油日と那須ガ原山に行くことにした。油日から那須ガ原までピストンの計画をたてたのだが、現地の油日の登山口は小雨が降っており、また、山頂もガスのなかであったので、縦走を断念し、那須ガ原もその登山口から登ることに変更した。油日の登山道の周囲はほとんどが植林であり、紅葉をほとんど見ることはなかった。山頂ではガスの切れ間から甲賀市内を望むことはできた。



山頂・余野公園標識④



参道橋（この上部の空き地で駐車）⑤



参道橋の標識 ⑤



駐車場もある登山口⑥



登山口・標識⑥



鹿ネット⑧

一旦、登山口に戻り、那須ヶ原山の登山口を探す。林道はアスファルトで快適であった。参道橋からコンクリート道となったが、急坂であり、先に駐車場があるかどうか？だったので、参道橋を渡ってすぐの空き地に駐車した。10分ほどで広い駐車場と登山口と出会う。黒部ノ滝⑦、鹿ネット⑧、イチ野ダムへの分岐⑨を経て山頂に到着。山頂には大鳥神社奥宮と参籠所がある。山頂にガスが流れ相当冷え込んでいる様子。また、関西で珍しい唐松は紅葉のおわりであり、黄色の葉がわずかにあるのみ。



イチ野砂防ダム分岐⑨



山頂⑩

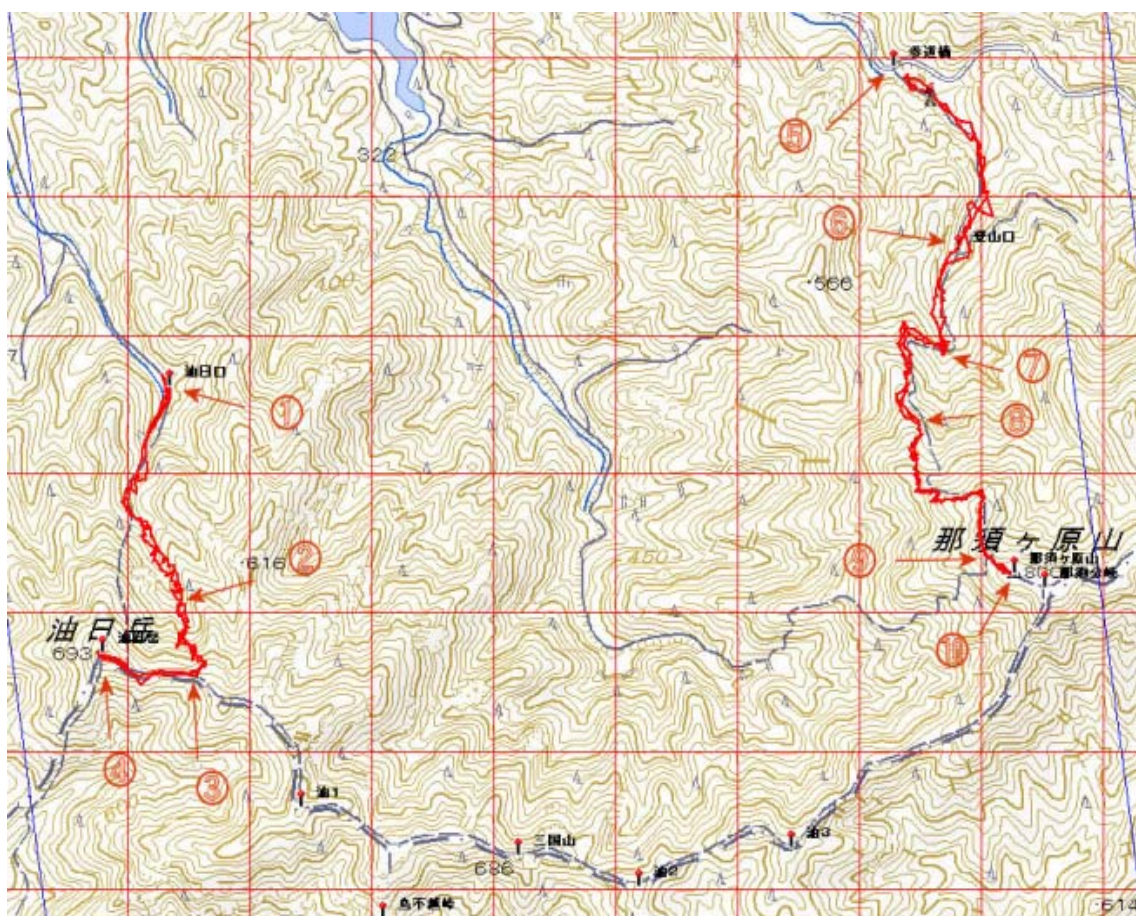


縦走路標識⑩



参籠所 ⑩

寒いので参籠所のなかで昼食とした。帰りにガスの切れ目から油日を見ることができた。稜線は相当の起伏がありそうだ。ピストンを止めてよかったかも。御在所と伊吹と藤原以外で鈴鹿に一人でくることほとんどなかった記憶している。来年は一般コースをひとりで来ることによって鈴鹿をより知れたらなと思っている。今回の油日と那須ヶ原はそのとっかかりの鈴鹿となった。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

[トップページ\(2009\)に戻る](#)

[ホームページに戻る](#)